



# 上毛新聞 号外



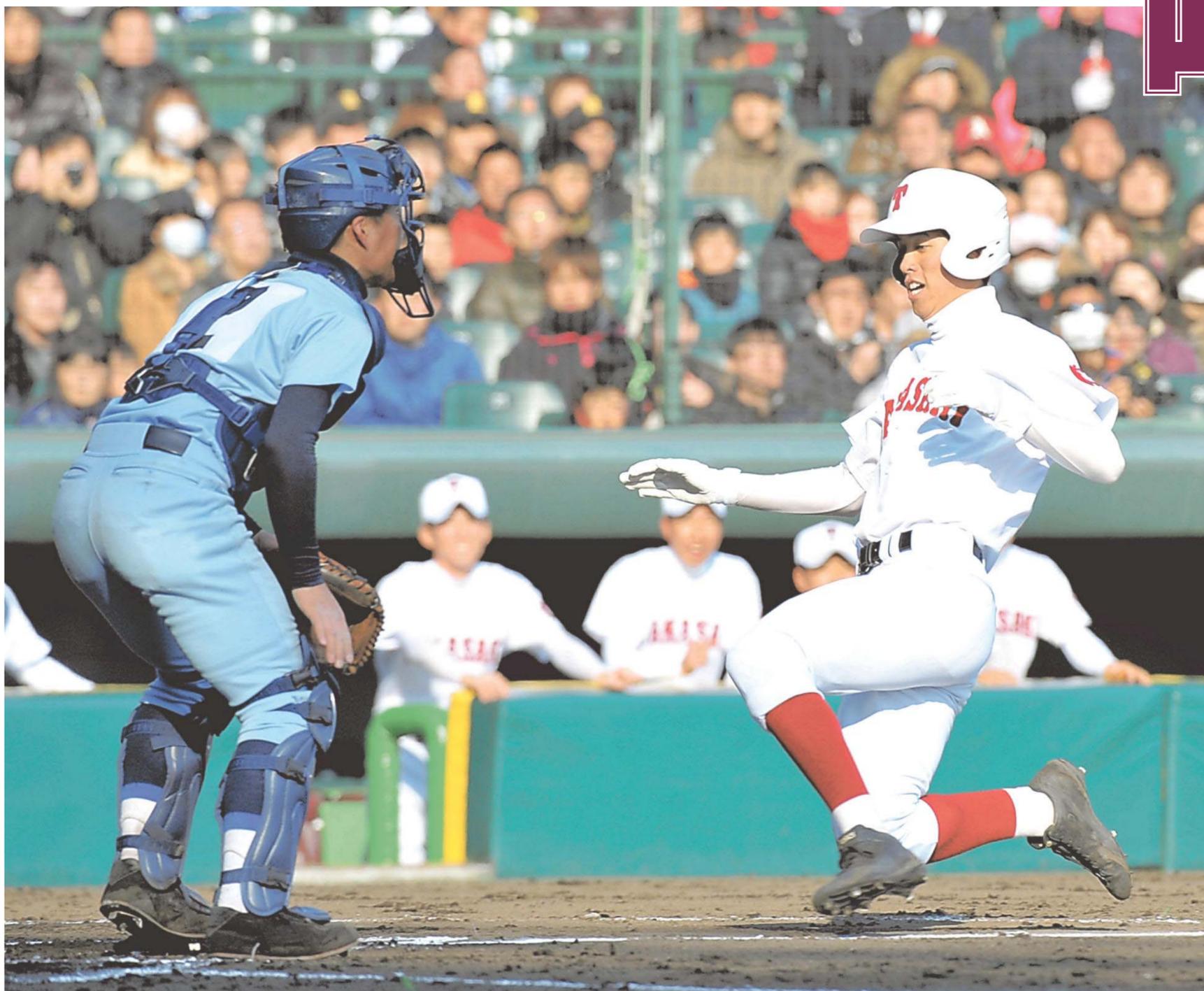
▶1回戦

高崎	1	0	0	1	0	0	0	0	2
近江(滋賀)	1	0	1	4	0	1	0	0	X17

# 高崎

# 先制も悲願ならず

## 夢舞台で奮闘



近江―高崎 1回表高崎2死一塁、金子の適時二塁打で中沢がかえり先制―甲子園

【甲子園】米原守、入山亘記者、関口和弘カメラマン】第84回選抜高校野球大会第4日は25日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1回戦4試合を行った。前日、降雨ノーゲームとなった31年ぶり2度目の出場の高崎は、第4試合で近江(滋賀)と対戦し2―7で敗れた。1898年の創部以来、春夏通じて2度目の大舞台で悲願の甲子園1勝を目指したが、果たせなかった。

高崎は初回2死一塁から、金子裕紀の適時二塁打で先制した。四回には、塚越陸が右前打で出塁。続く倉金宏輔の二塁打で塚越がかえり、2―2の同点に追い付いた。しかし、主戦島田智史が四回、近江打線に6安打を浴び4失点。高崎打線は五回以降4安打を放ったものの、得点に結び付けられなかった。

22日に初戦を突破した健大高崎は大会第7日第1試合(28日午前9時開始予定)で神村学園(鹿児島)と対戦する。